LaLaVoice 2001

ユーザーズガイド

もくじ

もくじ 2
はじめに 4
表記について 5

1章 LaLaVoice2001 の使い方

1 メインメニュー 8
2 LaLaVoice テキスト 9
声で文章を入力したり、入力した文章を読み上げたりできます。
1. 入力した文章を読み上げる 9
2. 言葉で文章を入力する 10
3. 入力した文章を保存する 11
4. 入力した文章を転送する 11
3 LaLaVoice コマンド 12
パソコンの操作を声で指示できます。
1. 音声コマンドの一覧 12
2. 音声コマンドの設定を変更する 13
4 LaLaVoice Web 15
ホームページに書いてある文章を読み上げます。
1.Web の文章を読み上げる 15
5 LaLaVoice LaLaSong 17
曲を作ったり、作った曲をキャラクタに歌わせることができます。
1. 既にある楽譜ファイルを使う 17
2. 新しい楽譜を作成する 19
6 LaLaVoice アシスタント 23
画面にメモを貼りつけたり、スケジュールを管理できます。
1. メモを貼りつける 23
2. スケジュールを管理する 25
3. 読み上げの設定をする 29
4. キャラクタのオプションを変更する 31
7 読み上げキャラクタの編集 33
文章を読み上げるキャラクタを編集します。
1. キャラクタの設定を変更する 33

8　LaLaVoice キーボード 34
キーボードのキーを押すと、キーの名前を読み上げます。
1. 読み上げフレーズを変更する 34
9　LaLaVoice メッセージ 35
システムの警告などを声で知らせます。
1. 読み上げるメッセージボックスの種類を選択する 35
10　LaLaVoice メール 36
Outlook や Outlook Express に届いたメールを読み上げます。
1. 電子メールに関する設定を行う 36
2. 着信メールの表示と読み上げを行う 38
11　LaLaVoice マクロ 39
Wordの文書、Excelのセルの内容、Outlookのメールの内容を読み上げたり、マイクから入力した文字を Word や Excel で表示できます。
1. マクロをインストールする 39
2. マクロをアンインストールする 40
3. マクロの使用を一時的に停止する 41
4. 音声で入力する 42
5. 文章を読み上げる 44
12　すぅぱぁみみ’s スクリーンセーバ 46
1. スクリーンセーバを設定する 46
13　辞書の設定 48
1. 音声合成辞書を設定する 48
2. 音声認識辞書を設定する 52

2章　こんなときには

1　こんなときには 56

さくいん 57

はじめに

お知らせ

・ディスプレイの表示色が 256 色以下の場合、アイコン等の色が正しく表示されないことがあります。
・Windows 2000 をお使いの場合、制限ユーザでのご使用は動作保証外となります。
・音声合成アプリケーションをお使いの場合、声の属性の設定値によっては、音量が小さく聞こえることがあります。また、英文など、日本語以外のテキストデータは正しく読み上げられない場合があります。
・LaLaVoice2001 の東芝音声合成及び東芝音声認識コントロールに関する次のファイルはお客様のご希望により再頒布できます。

TOSTTSX.OCX
TOSSRX.OCX

Trademarks

・LaLaVoice は、株式会社東芝の商標です。
・Microsoft、MS-DOS、Windows、Outlook は、米国 Microsoft 社の米国およびその他の国における登録商標です。
・Pentium、インテルは、Intel Corporation の登録商標です。
・SoundBlaster は、米国 Creative Technology 社の商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

お願い

・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
・ご購入時に決められた条件以外での、製品の複製もしくはコピーをすることは禁じられています。
お取り扱いにはご注意願います。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイヤル（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に同梱のお客様登録書に必要事項をご記入のうえ、返送してください。
ヘッドセットマイクの保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

表記について

本製品の取扱説明書は、次のきまりに従って書かれています。

記号の意味

⚠ 警 告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠ 注 意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があることを示します。

お願い

・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。

メモ

・知っておくと便利なことを説明しています。

用語

・覚えておくと役に立つ用語を説明しています。

参照 この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」
『他の説明書への参照先』
《オンラインヘルプへの参照先》

（注）補足説明をしています。

用語について

本書では、次のように定義します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
.....アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Me.....Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版を示します。

Windows 98.....Microsoft® Windows®98 SECOND EDITION operating system 日本語版を示します。

Windows 2000.....Microsoft® Windows®2000 Professional operating system 日本語版を示します。

Word、MS Word.....Microsoft® Word を示します。

Excel、MS Excel.....Microsoft® Excel を示します。

Outlook、MS Outlook ..Microsoft® Outlook® を示します。

Visual Basic.....Microsoft® Visual Basic を示します。

インターネットエクスプローラ
.....Microsoft® Interenet Explorer を示します。

MS Agent.....Microsoft® Agent を示します。

ActiveX.....Microsoft® ActiveX™ を示します。

MS Speech API.....Microsoft® Speech API を示します。

上記の社名およびソフトウェア名は、米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。

1章

LaLaVoice2001 の使い方

LalaVoice2001 の使い方について説明します。

1 メインメニュー 8
2 LaLaVoice テキスト 9
3 LaLaVoice コマンド 12
4 LaLaVoice Web 15
5 LaLaVoice LaLaSong 17
6 LaLaVoice アシスタント 23
7 読み上げキャラクタの編集 33
8 LaLaVoice キーボード 34
9 LaLaVoice メッセージ 35
10 LaLaVoice メール 36
11 LaLaVoice マクロ 39
12 すぅぱあみみ’s スクリーンセーバ 46
13 辞書の設定 48

1 メインメニュー

LaLaVoice2001 を起動すると、次の画面が表示されます。
各メニューの機能については、次のとおりです。

LaLaVoice テキスト
声で文字を入力したり、入力した文字を読み上げたりします。

LaLaVoice コマンド
操作を声で指示できます。

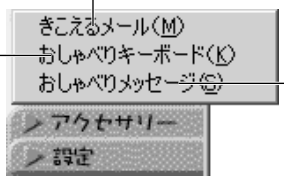
LaLaVoice LaLaSong
曲を作ったり、作った曲を歌ったりします。

LaLaVoice Web
ホームページの文字を読み上げます。

LaLaVoice アシスタント
メモを貼り付けたり、スケジュールを管理できます。

LaLaVoice ヘルプ
LaLaVoiceのヘルプが起動します。各アプリケーションの詳細や操作方法について説明しています。

とじる
LaLaVoiceを終了します。

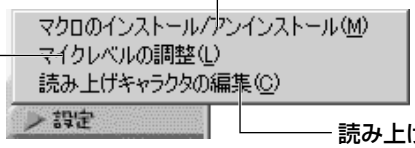


LaLaVoice メール
OutlookやOutlook Expressに届いたメールを読み上げます。

LaLaVoice キーボード
キーボードのキーを押すとキーの名前を読み上げます。

LaLaVoice メッセージ
システムの警告などを声でお知らせします。

マクロのインストール／アンインストール
マクロを組み込むことで、Word、Excelへの音声入力と読み上げ、Outlookのメールの読み上げができます。

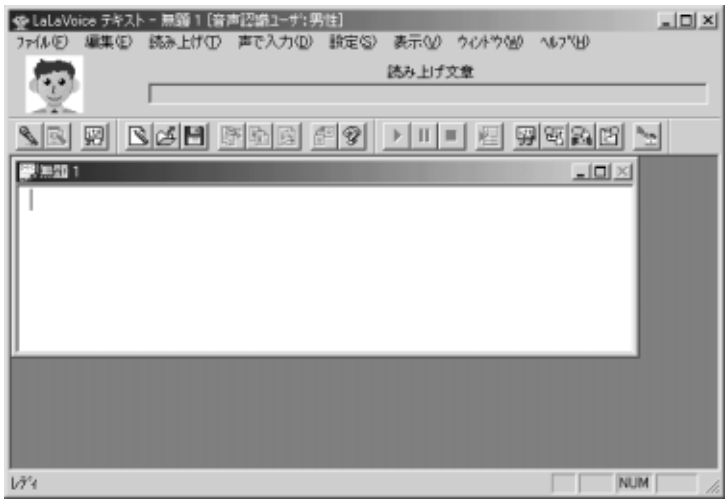


マイクレベルの調整
音声入力を行なうために、マイクの調整をします。

読み上げキャラクタの編集
文章を読み上げるキャラクタを編集します。

2 LaLaVoice テキスト

LaLaVoice テキストでは、入力した文章を読み上げたり、マイクを使って声で文章を入力することができます。
「LaLaVoice テキスト」を起動すると次の画面が表示されます。



1. 入力した文章を読み上げる

文章を読み上げる

キーボードやマイクを使って入力した文章を読み上げます。

1 読み上げて欲しい文章をキーボードやマイクを使って入力する

2 ［読み上げ開始］（ ▶ ）をクリックする

画面に表示されている文章を読み上げます。

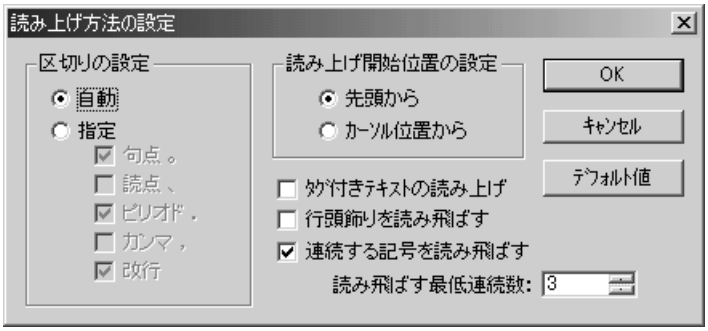
読み上げ方法を設定する

文章を読み上げるときの区切りや読み上げを始める場所などを設定できます。

1 ［読み上げ方法の設定］（ ）をクリックする

［読み上げ方法の設定］画面が表示されます。

2 読み上げ方法を設定して、［OK］ボタンをクリックする



2. 言葉で文章を入力する

言葉で入力する

マイクに向かって発した言葉を、文章に変換できます。

1 ［入力開始］（ ）をクリックする

音声入力が始まります。
ステータスバーに「音声入力受付中です」と表示されている場合は、クリックする必要はありません。

2 入力が終わったら、［入力終了］（ ）をクリックする

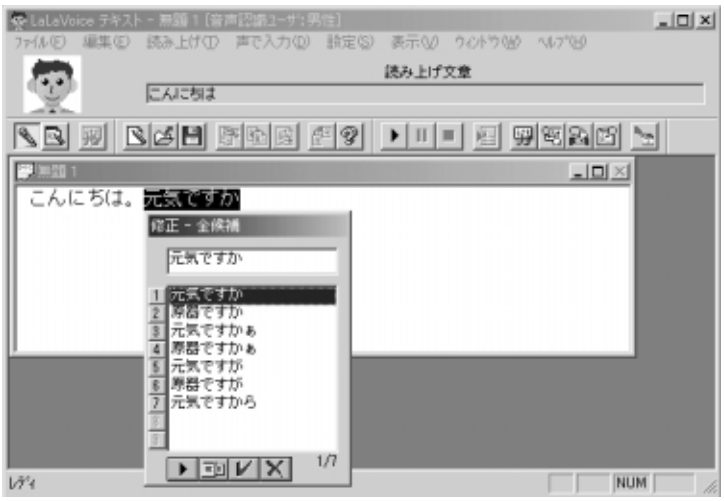
文章を修正する

言葉で入力した文章を修正できます。

1 修正したい文字の前にカーソルを置いて、ダブルクリックする

1度に入力した言葉が反転表示され、認識文字の一覧が表示されます。

2 ボタンを使って候補を修正する



ボタン： 入力した音声を再生します。
ボタン： 全候補を一覧として表示するか、異なる読みごとに表示するかを切り替えます。
ボタン： 対象となっている単語を、選択した候補または編集した単語に置き換えます。
ボタン： 対象となっている単語を削除します。

言葉で入力した文章は、キーボードから文字を入力したり、削除したりして修正することもできます。

3. 入力した文章を保存する

1 ［ファイル］メニューの［名前をつけて保存］をクリックする

ファイルは「.txs」という拡張子で保存されます。この文書は「メモ帳」や「ワードパッド」で呼び出すことができます。

4. 入力した文章を転送する

LaLaVoiceテキストで入力した文章をWordやメモ帳などに転送することができます。

転送先を指定する

文章を転送するときは、まず転送先を指定します。

1 転送したいアプリケーションを起動する

2 ［編集］メニューの［転送先ウィンドウの指定］をクリックする

起動しているアプリケーション名が表示されます。

3 転送したいアプリケーション名をクリックする

転送したいアプリケーション名の前にチェックマークがついて、転送先に選ばれます。

転送する

1 ［編集］メニューの［転送］をクリックする

転送先に入力した文章が転送されます。

転送先を指定してすぐに転送するようにする

転送先を指定するとすぐに文章を転送するように設定できます。

1 ［編集］メニューの［転送先ウィンドウの指定］をクリックする

2 ［指定後、直ちに転送する］をクリックする

［指定後、直ちに転送する］にチェックマークがついて、転送先を指定するとすぐに文章が転送されるようになります。

3 LaLaVoice コマンド

「LaLaVoice コマンド」を起動すると、今までマウスで行なっていた操作の多くを声で行なうことができます。
LaLaVoice コマンドには、よく使う操作を自分で登録できます。

1. 音声コマンドの一覧

音声コマンドの一覧を表示する

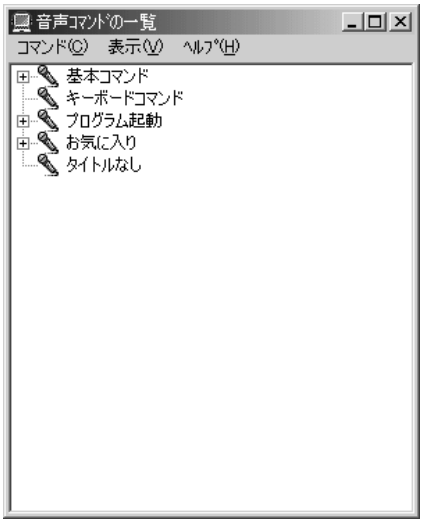
登録されている音声コマンドの一覧表を表示できます。

1 **タスクバーの［LaLaVoice コマンド］（ ）を右クリックする**

LaLaVoice コマンドのメニューが表示されます。

2 **［音声コマンドの一覧］をクリックする**

［音声コマンドの一覧］画面が表示されます。



音声コマンドを変更する

登録されている音声コマンドを変更することができます。変更できる項目は次の３つです。

・読み
・音声コマンドを実行するときの確認画面表示
・選択した音声コマンドの一時停止

1 **タスクバーの［LaLaVoice コマンド］（ ）を右クリックする**

LaLaVoice コマンドのメニューが表示されます。

2 **［音声コマンドの一覧］をクリックする**

［音声コマンドの一覧］画面が表示されます。

3 **音声コマンドの一覧で変更したいコマンドをクリックする**

お願い

・「削除」や「フォーマット」など、データが変更されるようなコマンドは、音声コマンドを実行する前に確認する機能を有効にしておくと安全です。また、周囲の雑音を認識してしまう場合には、指定のキーを押したり、マウス位置により音声入力を限定する機能を設定することをおすすめします。

4 ［コマンド］メニューの［変更］をクリックする

音声コマンドを変更する画面が表示されます。

5 項目を変更し、［OK］ボタンをクリックする

2. 音声コマンドの設定を変更する

音声入力モードを変更する

1 タスクバーの［LaLaVoice コマンド］（ ）を右クリックする

LaLaVoice コマンドのメニューが表示されます。

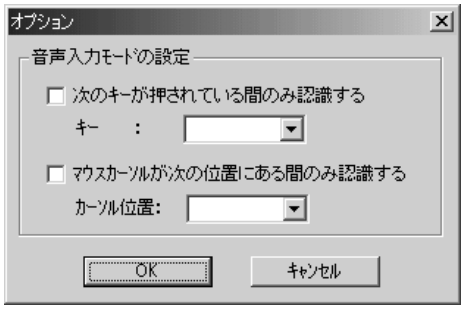
2 ［音声コマンドの一覧］をクリックする

［音声コマンドの一覧］画面が表示されます。

3 ［コマンド］メニューの［オプション］をクリックする

［オプション］画面が表示されます。

4 音声入力モードを設定する



次のキーが押されている間のみ認識する：

チェックボックスをチェックすると、特定のキーを押しているときだけ、音声コマンドを使うように設定できます。キーは をクリックして選びます。

マウスカーソルが次の位置にある間のみ認識する：

チェックボックスをチェックすると、マウスカーソルが特定の位置にある間だけ、音声コマンドを使うように設定できます。マウスカーソルの位置は をクリックして選びます。

5 ［OK］ボタンをクリックする

インジケータの表示

LaLaVoice コマンドを使っているときに、うまく音声が入力できているかわかるようにインジケータを表示できます。

1 タスクバーの［LaLaVoice コマンド］（ ）を右クリックする

LaLaVoice コマンドのメニューが表示されます。

2 ［インジケータの表示］をクリックする

インジケータが表示されます。

をクリックすると、インジケータが閉じます。

4 LaLaVoice Web

「LaLaVoice Web」を起動すると、ホームページに書いてある文章を読み上げます。

1. Webの文章を読み上げる

ホームページを読み上げる

1 「LaLaVoice Web」を起動する

Webの読み上げに使うボタンが表示されます。

ブラウザを起動する前に、「LaLaVoice Web」を起動すると、ブラウザも同時に起動します。
プロバイダに接続されていなかったときは、プロバイダに接続する画面も表示されます。

2 ▶（読み上げ開始）ボタンをクリックする

ホームページに書いてある文章を読み上げます。
各ボタンの機能は次のとおりです。

ボタン	名 称	機能内容
▶▶	早送りボタン	読み上げを行なっているときにクリックすると早送りになります。
▶	読み上げ開始ボタン	読み上げを開始します。
⏸	一時停止ボタン	読み上げを一時停止します。
■	停止ボタン	読み上げを停止します。
メニュー	メニューボタン	読み上げの設定を変えたり、読み上げを終了します。

ホームページの読み上げを終了する

1 ✕をクリックする

「LaLaVoice Web」が終了します。

ホームページを読み上げる設定をする

ホームページを読み上げるときの設定を変更できます。

1 メニュー（メニュー）ボタンをクリックする

LaLaVoice Webのメニューが表示されます。

2 ［設定］を選択し、［読み上げの設定］をクリックする

［読み上げの設定］画面が表示されます。

3 ホームページを読み上げる設定を変更する

設定項目	項目内容
ブラウザ	Internet Explorerでのみ、お使いになれます。
フレームの読み上げ	ホームページがフレームを使って作成されていた場合、すべてのフレームを読み上げるのか、マウスで指定したフレームだけを読み上げるのか選択します。
読み上げるテキストの種類	ホームページのどの部分を読み上げるのか指定します。
操作ウィンドウ	操作ウィンドウを常に手前に表示する場合は、チェックボックスをチェックします。

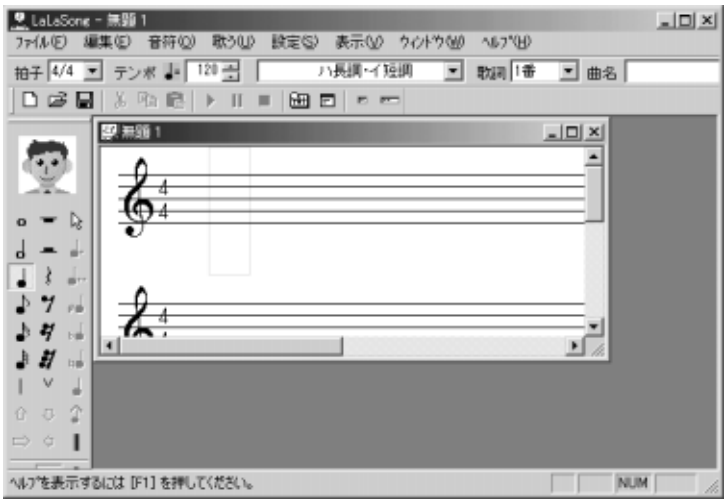
4 ［OK］ボタンをクリックする

［読み上げの設定］画面が閉じます。

5 LaLaVoice LaLaSong

歌声合成の機能を使って、キャラクタが音譜のメロディに沿って歌を歌います。歌う曲については、音譜や歌詞の編集、歌うキャラクタの選択などができます。

「LaLaVoice LaLaSong」を起動すると、次の画面が表示されます。



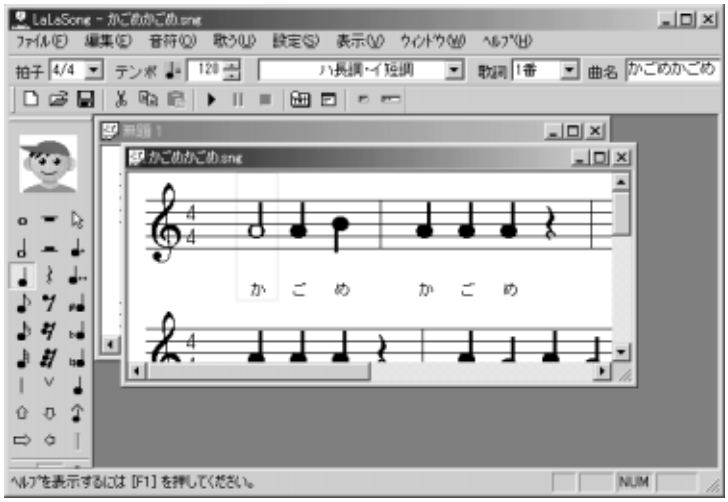
1. 既にある楽譜ファイルを使う

1 ［ファイル］メニューの［開く］をクリックする

［ファイルを開く］画面が表示されます。

2 楽譜ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックする

「LaLaVoice LaLaSong」の楽譜ファイルには ".sng" という拡張子が付いています。
ここでは、「かごめかごめ」を例に説明します。



3 ［歌う］メニューの［先頭から歌う］または［選択位置から歌う］をクリックする

画面左側の音符パレットの上に表示されたキャラクターが歌い始めます。

4 ［歌う］メニューの［一時停止］または ［中止］をクリックする

5 ［曲情報］の設定を変更する

曲情報バーに開かれている曲に関する情報が表示されます。必要に応じて設定を変更してください。

■ 拍子

曲の拍子を選択します。選択できる拍子は次のとおりです .
2/2, 2/4, 3/4, 4/4, 6/4, 4/8, 6/8

■ テンポ

曲のテンポ（30 ～ 999）を設定します。

■ 調号

曲の調号（15 種類）を選択します。

■ 歌詞

歌の何番の歌詞を表示するかを選択します。
選択できるのは、入力されている歌詞番号＋ 1までです。

■ 曲名

曲名を表示／編集します。

メモ

・ツールバーの ▶ ボタンをクリックすると、先頭から歌います。
・ツールバーの ❚❚ ボタンをクリックすると、歌を一時停止し、■ ボタンをクリックすると、歌を中止します。

2.新しい楽譜を作成する

1 ［ファイル］メニューの［新規作成］をクリックする

「無題」という名前の画面が表示されます。

2 音符、休符、記号をマウスで入力する

音符パレットで入力したい音符、休符、記号のボタンを選択し、五線譜の上を左クリックします。クリックした場所で音程が決まります。音程を修正したいときには、音符の黒丸部分をドラッグ＆ドロップして正しい位置に置き換えます。

■ 音符パレット

	アイコン	意 味
音符		全音符
		2分音符
		4分音符
		8分音符
		16分音符
		32分音符
休符		全休符
		2分休符
		4分休符
		8分休符
		16分休符
		32分休符

メモ
・音符や休符はキーボードで入力することもできます。
参照 キーボードでの入力方法
➲《オンラインヘルプ》

	アイコン	意味	説明
音符記号		付点を1つ付ける	選択されている音符／休符に付点を1つ付けます。 音符／休符が選択されているときのみ選択可能です。
		付点を2つ付ける	選択されている音符／休符に付点を2つ付けます。 音符／休符が選択されているときのみ選択可能です。
		シャープを付ける	選択されている音符にシャープを付けます。 音符が選択されているときのみ選択可能です。
		フラットを付ける	選択されている音符にフラットを付けます。 音符が選択されているときのみ選択可能です。
		ナチュラルを付ける	選択されている音符にナチュラルを付けます。 音符が選択されているときのみ選択可能です。
		記号なし	選択されている音符／休符の符号を消去します。 音符／休符が選択されているときのみ選択可能です。 消去する符号は、付点1つ／付点2つ／シャープ／フラット／ナチュラルの5つです。
音程		1音上げる	選択されている音符を1音上げます。ただし、選択されている音符が高い「シ」の場合は低い「ラ」になります。 音符が選択されているときのみ選択可能です。
		1音下げる	選択されている音符を1音下げます。ただし、選択されている音符が低い「ラ」の場合は高い「シ」になります。 音符が選択されているときのみ選択可能です。
音長		音長を長く	選択されている音符／休符の音長を長くします。 音符／休符が選択されているときのみ選択可能です。 ただし、選択されている音符が1番長い音長の場合は1番短い音長になります。
		音長を短く	選択されている音符／休符の音長を短くします。 音符／休符が選択されているときのみ選択可能です。 ただし、選択されている音符が1番短い音長の場合は1番長い音長になります。
その他		選択モード	選択モードのON／OFFを切り替えます。 複数の音符を選択したいときなどに、ONにします。
		音符と歌詞の挿入	選択位置の直前に音符と歌詞を入力する領域を挿入します。
		小節区切り	選択されている1つ前の位置かその場に小節区切りを入力します。
		息継ぎ	選択されている1つ前の位置かその場に息継ぎを入力します。
		終端記号	選択されている1つ前の位置かその場に終端記号を入力します。

3 歌詞を入力する

楽譜ウィンドウに歌詞を入力するには、歌詞入力フィールドを表示させ、その中にひらがなで書き込みます。歌詞入力フィールドには、次の２つがあります。

１音の歌詞入力フィールド：１つの音符に歌詞を割り当てます。基本的に入力された歌詞の変更をするために利用します。

連続の歌詞入力フィールド：複数の音符に歌詞を割り当てます。

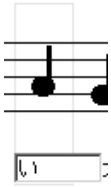
■ １音の歌詞入力フィールド

１音の歌詞入力フィールドを表示するには、次の方法があります。

・ツールバーの ボタンをクリックする

・［編集］メニューの［歌詞編集］-［１音の歌詞編集］をクリックする

・選択位置またはそれ以降に歌詞が入力されている音符の歌詞が入力される部分で、マウスの左ボタンをダブルクリックする



■ 連続の歌詞入力フィールド

連続の歌詞入力フィールドを表示するには、次の方法があります。

・ツールバーの ボタンをクリックする

・［編集］メニューの［歌詞編集］-［連続の歌詞編集］をクリックする

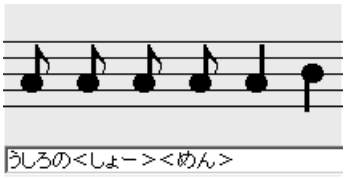
・選択位置以降に歌詞が入力されていない音符の歌詞が入力される部分で、マウスの左ボタンをダブルクリックする

■ １音に複数の文字を割り当てる場合

＜＞で囲みます。

■ 小さい文字を割り当てる場合

原則として１音に１文字ずつ割り当てられますが、小さい文字（ゃ、ゅ、ょ、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ）は前の文字といっしょに１音に割り当てられます。



メモ

・１音には最大４文字まで入力することができます。また、休符／息継ぎ／小節区切りに歌詞は割り当てられません。

■ 既に入力されている歌詞を変更する場合

変更したい範囲の音符を選択してから歌詞入力フィールドを表示させると、その部分の歌詞がフィールドに書き込まれた形で表示されます。
このとき、範囲の選択をせずに歌詞入力フィールドを表示させると既存の歌詞は表示されず、新たに入力した文字数の分だけ上書きされますのでご注意ください。

■ 入力した文字列を確定する場合

次の２つの方法があります。

・Enterキーを押す
・入力フィールド以外の場所をクリックして、入力フィールドを閉じる

■ 入力した文字列をキャンセルする場合

・Escキーを押す

4 ［ファイル］メニューの［名前を付けて保存する］をクリックする

［名前を付けて保存］画面が表示されます。

5 ファイル名を入力して［保存］ボタンをクリックする

6 LaLaVoice アシスタント

「LaLaVoice アシスタント」は、パソコンの画面にメモを貼りつけたり、スケジュールを管理することができます。また、スケジュールやメモの期限を声でお知らせしたり、音声で入力することもできます。
LaLaVoice アシスタントを起動すると、画面にうさぎのキャラクタが表示されます。

1. メモを貼りつける

パソコンの画面にメモを貼りつけることができます。また、メモに期限を設定することで、LaLaVoice アシスタントが声で読み上げてくれます。

メモを入力する

1 タスクバーの LaLaVoice アシスタントアイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［編集］をクリックする

［編集］画面が表示されます。

登録日、内容、期限が表示されます。登録日の前に「＊」がついているメモは、パソコンの画面に表示されているメモです。

3 ［追加］ボタンをクリックする

［メモの入力］画面が表示されます。

4 メモを入力する

内容　：画面に表示したい内容を入力します。

期限　：チェックボックスをチェックして、メモの期限を設定できます。期限を設定したメモは、LaLaVoice アシスタントを起動したときに内容が読み上げられます。

付箋を貼る：メモを画面に表示できます。画面に表示する付箋の色や書体を選べます。

5 ［OK］ボタンをクリックする

メモを修正する

1 タスクバーの LaLaVoice アシスタントアイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［編集］をクリックする

［編集］画面が表示されます。

3 修正したいメモをクリックして、［変更］をクリックする

メモの修正を行ないます。

メモを削除する

1 タスクバーの LaLaVoice アシスタントアイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［編集］をクリックする

［編集］画面が表示されます。

3 削除したいメモをクリックして、［削除］をクリックする

4 メッセージを確認して、［はい］をクリックする

選択したメモが削除されます。

メモ

・メモの内容を入力するときは、適当な位置で改行すると見やすくなります。

2. スケジュールを管理する

スケジュールを管理できます。スケジュールが登録されている日になると、LaLaVoice アシスタントが、声でお知らせしてくれます。

スケジュールを登録する

1 タスクバーの LaLaVoice アシスタントアイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［編集］をクリックする

［編集］画面が表示されます。

3 ［予定］タブをクリックする

スケジュールの画面が表示されます。

4 ［追加］ボタンをクリックする

［予定の入力］画面が表示されます。

5 予定を入力する

件名　：予定の件名を入力します。

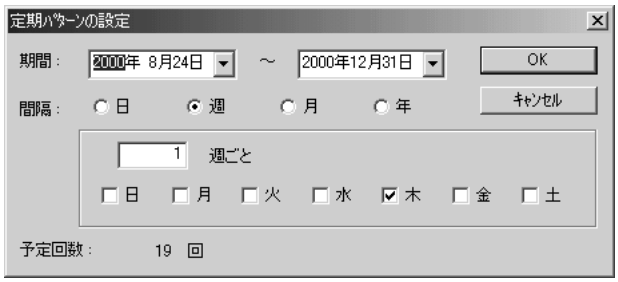
場所　：場所を入力します。

開始日時・終了日時　：▼をクリックしてカレンダーから予定日を選びます。
◀ ▶をクリックすると前月、次の月を表示できます。
▲▼をクリックして時間を指定できます。時間はキーボードからも入力できます。

通知　：▼をクリックして予定時間より前に通知をするか選択できます。
選択できる時間は、次の８種類です。
なし、0分、5分、15分、30分、1時間、2時間、1日

内容　：予定の内容を入力します。

定期的に行う　：チェックボックスをチェックすると、[定期パターン…] ボタンをクリックできるようになります。[定期パターン…] ボタンをクリックすると、ある一定の期間で間隔を選んでスケジュールを１度に登録することができます。



6 [OK] ボタンをクリックする

確認画面が表示されます。

7 [OK] ボタンをクリックする

スケジュールを修正する

1 タスクバーの LaLaVoice アシスタントアイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［編集］をクリックする

編集画面が表示されます。

3 ［予定］タブをクリックする

スケジュールの画面が表示されます。

4 修正したいスケジュールをクリックし、［変更］ボタンをクリックする

予定の修正を行います。

スケジュールを削除する

1 タスクバーの LaLaVoice アシスタントアイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［編集］をクリックする

編集画面が表示されます。

3 ［予定］タブをクリックする

スケジュールの画面が表示されます。

4 削除したいスケジュールをクリックし、［削除］ボタンをクリックする

5 メッセージを確認し、［はい］をクリックする

選択したスケジュールが削除されます。
特定の日にち以降のスケジュールを削除する場合は、「予定の整理」で行ないます。

予定の整理

予定の整理を使用すると、スケジュールをまとめて削除したり、ファイルに保存できます。

1 タスクバーの LaLaVoice アシスタントアイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［編集］をクリックする

［編集］画面が表示されます。

3 ［予定］タブをクリックする

スケジュールの画面が表示されます。

4 ［予定の整理］ボタンをクリックする

［予定の整理］画面が表示されます。

5 処理の種類を選ぶ

削除　　：期間を指定して、スケジュールをまとめて削除できます。
ファイルに保存：期間を指定して、Outlook で読み込み可能なファイルの形式に保存できます。
インポート　　：Outlook でエクスポートしたファイル（.csv ファイル）を読み込むことができます。

6 ［完了］ボタンをクリックする

3. 読み上げの設定をする

LaLaVoice アシスタントを起動したとき、メモやスケジュールを読み上げる設定を行います。

1 タスクバーの LaLaVoice アシスタントアイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

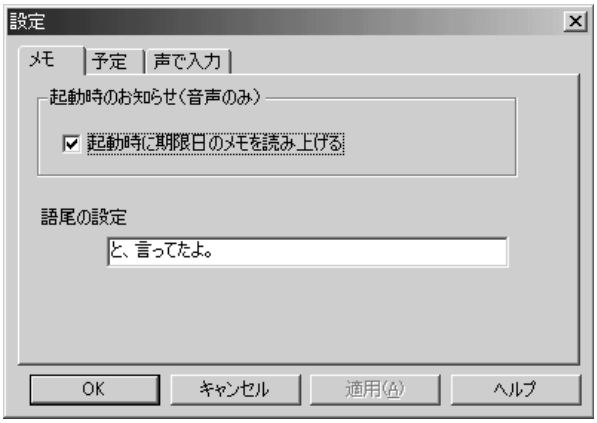
2 ［設定］をクリックする

設定画面が表示されます。

3 設定をしたい機能のタブをクリックする

4 読み上げの設定をする

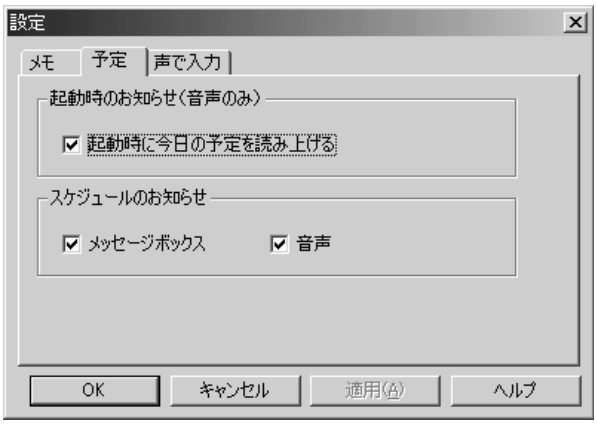
■ メモ



起動時のお知らせ：チェックボックスをチェックすると、LaLaVoiceアシスタントを起動したときに、期限を設定したメモを読み上げます。

語尾の設定：LaLaVoice アシスタントがメモを読み上げるときに最後につける言葉を入力します。

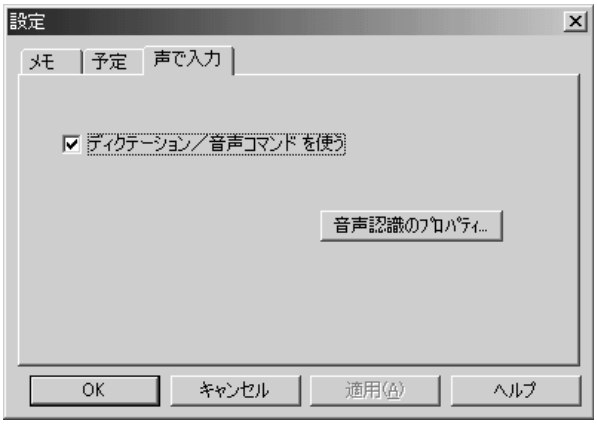
■ 予定



起動時のお知らせ　：チェックボックスをチェックすると、LaLaVoice アシスタントを起動したときに、その日の予定を読み上げます。

スケジュールのお知らせ：メッセージボックス、音声を選べます。

■ 声で入力



ディクテーション／音声コマンドを使う

：チェックボックスをチェックすると、ディクテーション機能を使用できます。

4. キャラクタのオプションを変更する

1 タスクバーの LaLaVoice アシスタントアイコン（ ）を右クリックする

LaLaVoice アシスタントのメニューが表示されます。

2 ［MS Agent のプロパティ］をクリックする

［キャラクタオプションの詳細設定］画面が表示されます。

3 変更したい機能のタブをクリックして、キャラクタのオプションを変更する

■ 音声出力

音声の内容をバルーンに表示する

：チェックボックスをチェックすると、音声内容を表示します。また、キャラクタのフォントを選択できます。

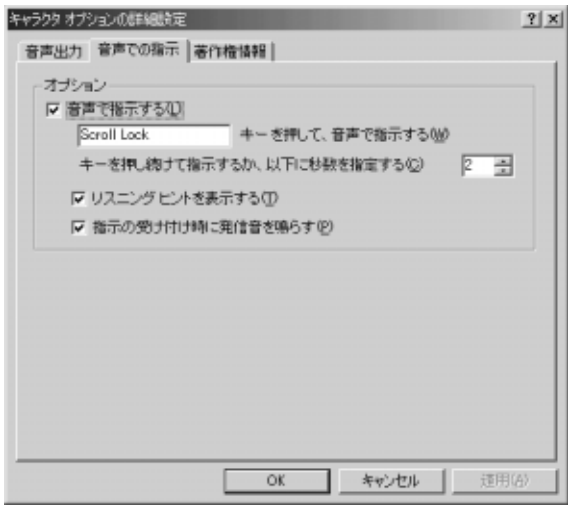
音声を再生する

：チェックボックスをチェックすると、音声を再生します。音声のスピードも選択できます。

キャラクタのサウンド効果をオンにする

：チェックボックスをチェックすると、キャラクタが行動するときの音声を再生します。

■ 音声での指示



音声で指示する

：チェックボックスをチェックすると、行いたい操作を音声で指示するか選択できます。また、特定のキーを押しながら音声を受け付けるか、特定の時間内に音声を受け付けるかを指定できます。

リスニングヒントを表示する

：チェックボックスをチェックすると、音声入力のできる状態であることを表示します。

指示の受け付け時に発信音を鳴らす

：チェックボックスをチェックすると、音声の指示を受け付けるときに発信音を鳴らします。

■ 著作権情報

著作権情報が表示されます。

4 ［OK］ボタンをクリックする

7 読み上げキャラクタの編集

LaLaVoice2001 には、あらかじめ９種類のキャラクタが用意されています。キャラクタの声の設定（声質や声の高さ、抑揚など）や名前、年齢を変更できます。

「読み上げキャラクタの編集」を起動すると、次の画面が表示されます。

1. キャラクタの設定を変更する

1 変更するキャラクタを選択し、設定を変更する

設定を変更できるのは、名前、年齢、声の種類、声質、抑揚、速度、高さ、トーン、音量の９項目です。

設定項目	設定内容
名前	［名前の変更...］ボタンをクリックし、［名前の変更］画面で、名前と年齢を変更します。 お好きな名前を入力し、6種類の年齢層の中から選択します。 設定ができたら、［OK］ボタンをクリックします。
年齢	
声の種類	男声、女声1、女声2から選びます。キャラクタの性別とは無関係に選択できます。
声質	5段階で設定できます。 スライダを左に動かすと声は太くなり、右に動かすと細くなります。
抑揚	5段階で設定できます。 スライダを左に動かすと抑揚は弱くなり、右に動かすと強くなります。 抑揚を0にすると、ロボットのような読み方になります。
速度	10段階で設定できます。 スライダを左に動かすと遅くなり、右に動かすと速くなります。
高さ	10段階で設定できます。 スライダを左に動かすと低くなり、右に動かすと高くなります。
トーン	10段階で設定できます。 スライダを左に動かすとトーンは低くなり、右に動かすと高くなります。
音量	10段階で設定できます。 スライダを左に動かすと小さくなり、右に動かすと大きくなります。

2 ［OK］ボタンをクリックする

編集した設定が保存され、「読み上げキャラクタの編集」が終了します。設定後は、各アプリケーションの「音声のプロパティ」で変更したキャラクタを使用できます。

8 LaLaVoice キーボード

「LaLaVoice キーボード」を起動すると、“LaLaVoice キーボード起動しました”と音声が流れ、タスクバーに最小化した状態で表示されます。
キーを押すと、押されたキーに設定した読み上げフレーズを読み上げます。
読み上げフレーズとは、キーを押したときに読み上げる言葉のことです。

1. 読み上げフレーズを変更する

1 タスクバーの LaLaVoiceキーボード-ON をクリックする

設定画面が表示されます。

2 ▼ をクリックして、キーを選択する

キーに対応した読み上げフレーズが表示されます。

3 ［読み上げフレーズ］の言葉を変更する

漢字の読み上げはできません。

ボタンをクリックすると読み上げます。

4 ［変更］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。

5 ［OK］ボタンをクリックする

メモ

・読み上げることのできるキーは次のとおりです。
　・アルファベット
　・かな
　・コントロールキー
・［すべて既定値］ボタンをクリックすると、すべてのキーの読み上げフレーズが既定値に戻ります。

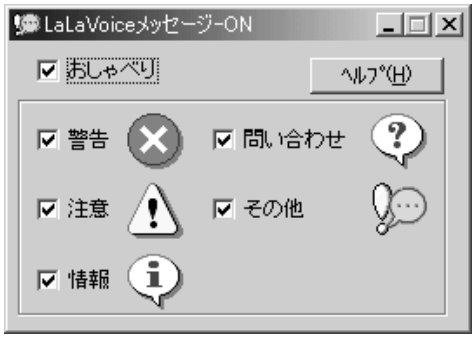
9 LaLaVoice メッセージ

「LaLaVoice メッセージ」を起動すると、“LaLaVoice メッセージ起動しました”と音声が流れ、タスクバーに最小化した状態で表示されます。
システムによってメッセージボックスが表示されると、その内容を読み上げます。

1. 読み上げるメッセージボックスの種類を選択する

1 **タスクバーの LaLaVoiceメッセージ-ON をクリックする**

設定画面が表示されます。



2 **読み上げるメッセージボックスを選択する**

チェックされているメッセージボックスの文章を読み上げます。

メモ

・読み上げるメッセージボックスはシステムによってアクティブにされたものに限られます。

10 LaLaVoice メール

新着メールの有無をチェックして、新着メール数を音声で知らせます。
メールサーバへの接続には、「MAPI」を利用する方法と「POP3 サーバ」を直接指定する方法があります。「MAPI」を利用した接続の場合、着信メールの表示と読み上げができます。
なお、「LaLaVoice メール」は新着メールの有無を音声で知らせますが、電子メールアプリケーションではありません。

「LaLaVoice メール」を起動すると、次の画面が表示されます。

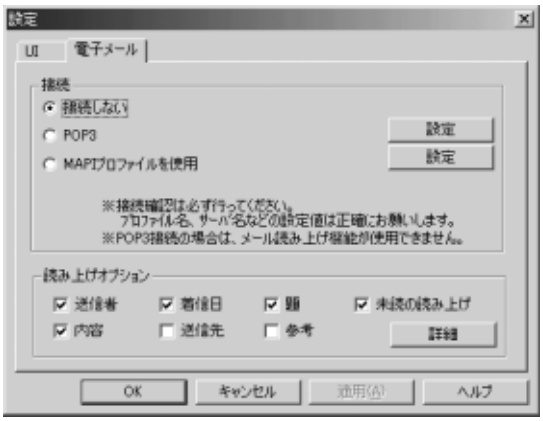
タイトルバーに「新着メール数」と「現在時刻」が表示されます。

用語
・MAPI
（Messaging Application Program Interface）
Microsoft社が標準化した、Windows 上で電子メール機能を扱うための仕様。

1. 電子メールに関する設定を行う

1 ボタンをクリックする

［設定］画面が表示されます。



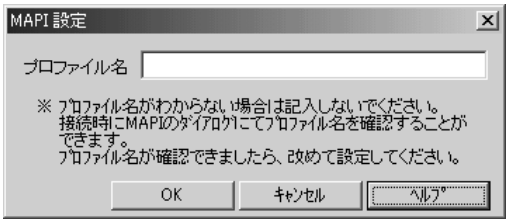
2 新着メールをチェックするメールサーバへの接続方法を選択する

ご利用のメールソフトが MAPI 対応の場合は、［MAPI プロファイルを使用］をチェックしてください。
ご利用のメールソフトが MAPI 対応ではなく、POP3 サーバ接続の場合は［POP3］をチェックしてください。
なお、着信メールの表示と読み上げは［MAPI プロファイルを使用］の場合のみ有効です。

3 選択した接続方法の［設定］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。

■［MAPI プロファイルを使用］



■［POP3］

4 必要な項目を入力して、［OK］ボタンをクリックする

5 読み上げオプションの設定を行う

メールを指定して読み上げる場合の設定です。
読み上げたい項目をチェックします。

6 ［OK］ボタンをクリックする

2. 着信メールの表示と読み上げを行う

1 ボタンをクリックする

［着信メール］画面が表示されます。
新着（未読）メールには アイコン、既読メールには アイコンが表示されます。

2 メールを選択して、 ボタンをクリックする

メールの内容を読み上げます。
読み上げる順序は、次のとおりです。

送信者－題－受信日－内容

11 LaLaVoice マクロ

Office97／2000がインストールしてあるパソコンにLaLaVoice2001をインストールすると、Wordの文書、Excelのセルの内容、Outlookのメールを読み上げるマクロと、マイクから入力した音声を文字に変換して、Word、Excelに表示するマクロを組み込むことができます。ただし、Office97／2000より先に、LaLaVoice2001をインストールしたときは、自動的に組み込まれません。「マクロのインストール」をしてください。
また、Office97／2000でLaLaVoice マクロを使用したくないときは、「マクロのアンインストール」をすることができます。

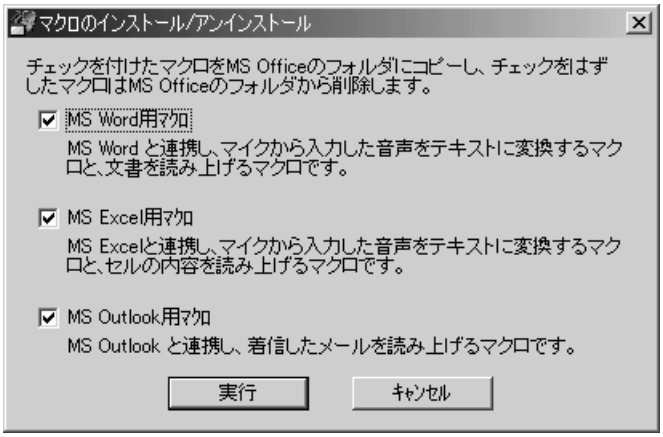
用語
・マクロ
特定の作業を行うために必要な一連の操作や命令を1つにまとめたもの。

1. マクロをインストールする

Office97／2000より先に、LaLaVoice2001をインストールしたときは、マクロは自動的に組み込まれません。この操作をしてください。

1 「マクロのインストール / アンインストール」を起動する

［マクロのインストール / アンインストール］画面が表示されます。



2 インストールしたいマクロの前のチェックボックスをチェックする

3 ［実行］ボタンをクリックする

マクロがインストールされます。

マクロのツールバーが表示されない場合

マクロのインストールを行なってもツールバーが表示されない場合は、次の手順でマクロを組み込んでください。

■ Word のマクロを組み込む

1 ［ツール］メニューの［テンプレートとアドイン］をクリックする

［テンプレートとアドイン］画面が表示されます。

2 マクロを組み込む

「TosDicWd.dot」（音声入力のマクロ）または「TosWord.dot」（読み上げのマクロ）のチェックボックスをチェックして、［OK］ボタンをクリックします。

■ Excel のマクロを組み込む

1 ［ツール］メニューの［アドイン］をクリックする

［アドイン］画面が表示されます。

2 マクロを組み込む

「LaLaVoice2001 声で入力」または「LaLaVoice2001 読み上げ」のチェックボックスをチェックして、［OK］ボタンをクリックします。

■ Outlook のマクロを組み込む

1 ［ツール］メニューから、［オプション］をクリックする

［オプション］画面が表示されます。

2 ［その他］タブをクリックして、［詳細オプション］ボタンをクリックする

Outlook97 をお使いの場合は、［全般］タブをクリックしてください。

3 ［アドインマネージャ］ボタンをクリックする

4 マクロを組み込む

「LaLaVoice2001 の読み上げ」のチェックボックスをチェックして、［OK］ボタンをクリックする

2. マクロをアンインストールする

Office97／2000でマクロを使用したくないときは、この操作をしてください。

1 「マクロのインストール / アンインストール」を起動する

［マクロのインストール / アンインストール］画面が表示されます。

2 使用したくないマクロの前のチェックボックスのチェックをはずす

3 ［実行］ボタンをクリックする

マクロがアンインストールされます。

3. マクロの使用を一時的に停止する

一時的にマクロの使用を停止することができます。

Wordのマクロを一時的に停止する

1 **［ツール］メニューの［テンプレートとアドイン］をクリックする**

［テンプレートとアドイン］画面が表示されます。

2 **マクロを取りはずす**

■ 音声入力のマクロを取りはずしたいとき

「TosDicWd.dot」のチェックをはずして、［OK］ボタンをクリックする

■ 読み上げのマクロを取りはずしたいとき

「TosWord.dot」のチェックをはずして、［OK］ボタンをクリックする

Excelのマクロを一時的に停止する

1 **［ツール］メニューの［アドイン］をクリックする**

［アドイン］画面が表示されます。

2 **マクロを取りはずす**

■ 音声入力のマクロを取りはずしたいとき

「LaLaVoice2001 声で入力」のチェックをはずして、［OK］ボタンをクリックする

■ 読み上げのマクロを取りはずしたいとき

「LaLaVoice2001 読み上げ」のチェックをはずして、［OK］ボタンをクリックする

Outlookのマクロを一時的に停止する

1 **［ツール］メニューの［オプション］をクリックする**

［オプション］画面が表示されます。

2 **［その他］タブをクリックし、［詳細オプション］ボタンをクリックする**

Outlook97をお使いの場合は、［全般］タブをクリックしてください。

3 **［アドインマネージャ］ボタンをクリックする**

4 **マクロを取りはずす**

■ 読み上げのマクロを取りはずしたいとき

「LaLaVoice2001 声で読み上げ」のチェックをはずして、［OK］ボタンをクリックする

4. 音声で入力する

1 ［声で入力］メニューまたは［声で入力］ツールバーの「音声入力開始」（ ）をクリックする

マイクから入力した音声をテキストに変換してExcelに表示します。

2 ［声で入力］メニューまたは［声で入力］ツールバーの「音声入力終了」（ ■ ）をクリックする

3 間違って認識された単語が入力されているセルを選択して「テキストの修正」（ ）をクリックする

単語の認識結果の全候補を示した画面が表示されます。

4 ボタンを使って候補を修正する

ボタン：全候補を一覧として表示するか、異なる読みごとに表示するかを切り替えます。

ボタン：対象となっている単語を削除します。

ボタン：対象となっている単語を、選択した候補、または編集した単語に置き換えます。

メモ

・Excelでテキストの修正をするときは、「入力の設定」で［1つのセルに1語入力して自動的に移動］に設定しているときのみ行えます。

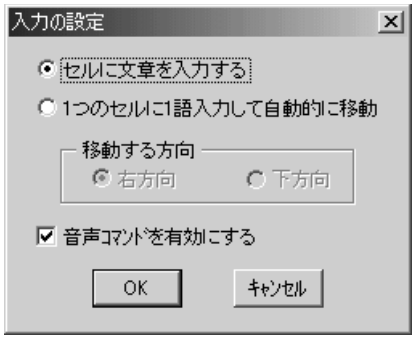
入力の設定

Excelで声で入力するときは、入力の設定をすることができます。

1 ［声で入力］メニューまたは［声で入力］ツールバーの「入力の設定」をクリックする

［入力の設定］画面が表示されます。

2 必要な設定を行う



■ セルに文章を入力する

音声によって１つのセルに複数の文字列を入力できます。
この設定では、テキストの修正はできません。

■ １つのセルに１語入力して自動的に移動

音声によって１つのセルに１語入力すると、次のセルに自動的に移動します。
移動する方向は、「右方向」「左方向」から選択してください。
この設定では、テキストの修正ができます。

■ 音声コマンドを有効にする

あらかじめ登録されている音声コマンドを認識し、選択しているセルを移動します。
音声コマンドには、次の４つが登録されています。

コマンド（読み）	動 作
右へ移動（みぎえいどう）	選択しているセルが1つ右へ移動する
下へ移動（したえいどう）	選択しているセルが1つ下へ移動する
次の行（つぎのぎょう）	選択しているセルが次の行の先頭に移動する
次の列（つぎのれつ）	選択しているセルが次の列の先頭に移動する

5. 文章を読み上げる

Word／Excelの文章を読み上げる

1 ［読み上げ］メニューまたは［読み上げ］ツールバーの「選択範囲の読み上げ」をクリックする

選択されている範囲のセルの内容を読み上げます。
読み上げるセルの範囲を選択したのち、［選択範囲の読み上げ］を選択すると、指定した範囲を読み上げます。

2 ［読み上げ］メニューまたは［読み上げ］ツールバーの「読み上げ停止」をクリックする

入力の設定

Excel で文章を読み上げるときは、入力の設定をすることができます。

1 ［読み上げ］メニューまたは［読み上げ］ツールバーの「表読みの設定」をクリックする

［表読みの設定］画面が表示されます。

2 必要な設定を行う

■ 数字

セルの内容が数字の場合に、読み上げます。

■ 文字列

セルの内容が文字列の場合に、読み上げます。

■ 空セル

セルの内容が空の場合に、「無し」と読み上げます。
ただし［空セル］の読み上げは、［選択範囲の読み上げ］の場合のみ有効です。

■ 常に読み上げる

セルにデータを入力し、Enterキーを押すと、セルの内容を読み上げます。

■ 読み上げ優先

［選択範囲の読み上げ］の場合、列、行のどちらを優先して読み上げるかを選択します。

メールを読み上げる

1 Outlookを起動する

2 ［ツール］メニューの［未読メールの読み上げ］または［選択メールの読み上げ］をクリックする

読み上げに関するメニューは、「受信トレイ」が表示されているときだけ有効です。

■ 未読メールの読み上げ

未読メールを順次読み上げます。
未読メールがない場合は、「未読メールはありません」と音声でお知らせします。

■ 選択メールの読み上げ

選択しているメールを選択順に読み上げます。

3 ［ツール］メニューの［読み上げ停止］をクリックする

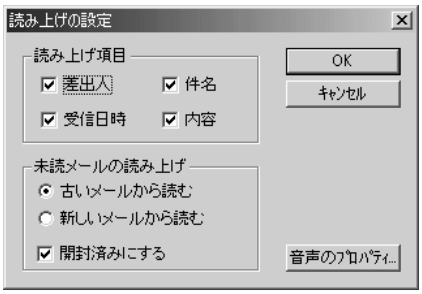
読み上げの設定

メールを読み上げるときは、読み上げの設定をすることができます。

1 ［ツール］メニューの［読み上げの設定］をクリックする

［読み上げの設定］画面が表示されます。

2 必要な項目をチェックする



■ 読み上げ項目

読み上げる項目（差出人／件名／受信日時／内容）のチェックボックスをチェックします。

■ 未読メールの読み上げ

未読メールを読み上げるときの順番を設定します。
また、読み上げたメールを開封済みにするかを設定します。

12 すぅぱぁみみ's スクリーンセーバ

LaLaVoice2001 のキャラクタ 「すぅぱぁみみ」のスクリーンセーバです。
音声認識・音声合成機能を使って、すぅぱぁみみとおしゃべりを楽しめます。
スクリーンセーバの設定は次のとおりです。

1. スクリーンセーバを設定する

1 ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］をクリックする

2 ［画面］をダブルクリックする

［画面のプロパティ］が表示されます。

3 ［スクリーンセーバー］タブの「スクリーンセーバー」ボックスの右にある ▼ ボタンをクリックする

スクリーンセーバの一覧が表示されます。

4 ［すぅぱぁみみ］をクリックして選択する

5 ［設定］ボタンをクリックする

［すぅぱぁみみの設定］画面が表示されます。

6 必要な設定を行う

■ 呼びかけ

スクリーンセーバの「すぅぱぁみみ」に呼びかける言葉とそれに対する返事を設定します。あらかじめ次の6個が設定されています。これらの設定を変更することも新規で作成することもできます。最大10個まで登録できます。

すぅぱぁみみへ呼びかける言葉	読み	すぅぱぁみみのお返事
今日は！	こんにちわ	こんにちは。ご機嫌いかが？
元気ですか？	げんきですか	はーい、とっても元気です。
行ってきます	いってきます	行ってらっしゃい。お留守番しています。
ただいま	ただいま	お帰りなさい。待っていたのよ。遊んで。
行き先は？	いきさきわ	今、会議中です。
最近、どぉ？	さいきんどお	もう、暇で暇で。

■ ユーザ

呼びかける人の性別を設定します。

■ 時刻を答えるときのよびかけ

チェックすると、呼びかけに対して現在時刻を答えます。
呼びかける言葉は「いまなんじ」となっていますが、変更もできます。

■ スクリーンセーバを終了するときのよびかけ

チェックすると、呼びかけに応じてスクリーンセーバを終了します。
呼びかける言葉は「さようなら」となっていますが、変更もできます。

■ しばらく呼びかけをしないときのおしゃべり

設定した時間何も呼びかけないと、すぅぱぁみみがおしゃべりをはじめます。
おしゃべりの内容は「ちょっと、席をはずしています。」となっていますが、変更もできます。

7 ［OK］ボタンをクリックする

［画面のプロパティ］に戻ります。

8 ［待ち時間］を設定する

選択したスクリーンセーバが表示されるまでの時間を設定します。

9 ［OK］ボタンをクリックする

13 辞書の設定

LaLaVoice2001 にはあらかじめ、文章を読み上げるための単語辞書が約 14 万語と、音声を認識するための単語辞書が 10万5千語、用意されています。また、文章を読み上げるための辞書では約 2000 語、音声を認識するための辞書では約 1 万語までユーザ辞書へ登録することができます。

1. 音声合成辞書を設定する

ユーザ辞書への登録

1 **各アプリケーションのメニューやツールバーの「音声のプロパティ」または「音声合成のプロパティ」をクリックする**

［音声のプロパティ］画面が表示されます。

2 **［ユーザ辞書］タブをクリックする**

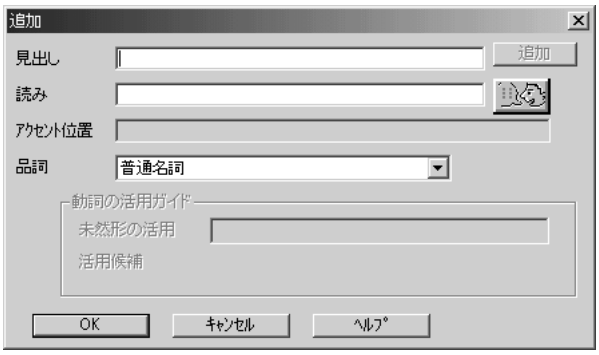
次の画面が表示されます。

メモ

・ユーザ辞書に登録すると登録された読みでテキストを読み上げますが、日本語解析処理の都合上、読みが反映されない場合もあります。

3 ［追加］ボタンをクリックする

［追加］画面が表示されます。



4 登録を行う

■ 見出し

16文字まで入力できます。入力できる文字は次のとおりです。

・漢字
・ひらがな、数字（全角・半角）
・カタカナ（全角・半角）
・アルファベット（全角・半角、大文字・小文字）
・数字（全角・半角）
・記号
・外字

カタカナ、アルファベット、数字について、半角で入力されたものは全角に変換して登録します（全角、半角を区別して登録することはできません）。
また、すでに登録されている単語の修正を行う場合、見出しの変更はできません。

■ 読み

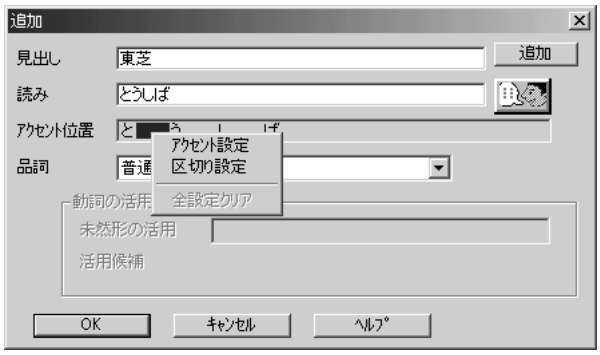
ひらがなで入力します。アクセント位置のガイドにしたがって、間にアクセント記号（＾、／など）を入力することで、アクセントの位置や区切りを設定し、アクセント情報を付加した読みとします。

■ アクセント位置

読みの文字列の中で、アクセント記号を入力できる位置を示したガイドです。文字間に広いスペースの入っているところにアクセント記号を挿入することができます。

・アクセント記号入力方法
＾：アクセントを付ける位置（強く発音する音）を示します
／：アクセント句の区切り（合成語などの単語と単語の区切り）を示します

「アクセント位置」に表示されている読みのアクセント記号を挿入したい位置で、右ボタンをクリックするとアクセント設定（削除）のメニューが表示されます。



メニューから、アクセント設定（削除）、区切り設定（削除）、全設定クリアのいずれかを選択し、「アクセント位置」の文字列を変更します。

・「＾」を付けることができるのは、1つのアクセント句に対して1個です。
・アクセント句は10個まで設定することができます。
・アクセント記号は、「きゃ」などの「き」と「ゃ」の間に挿入できません。「アクセント位置」の欄に表示された読みの、スペースの入っている部分に挿入できます。
・読みやアクセント句の先頭の文字に、発音できない文字（っ、ゃ、んなど）は設定できません。
・用言（動詞、形容詞、形容動詞）は終止形で登録してください。特に、見出しと読みの語尾1文字は同じ文字にするようにしてください。
・用言（動詞、形容詞、形容動詞）の語尾にアクセント記号を付けることはできません。

＜例＞

すぅぱぁみ＾み　○（アクセント句が1個、アクセント位置が1個）
すぅぱぁ／み＾み　○（アクセント句が2個、アクセント位置が1個）
すぅ＾ぱぁ／み＾み　○（アクセント句が2個、アクセント位置が2個）
すぅ＾ぱぁみ＾み　×（アクセント句が1個なのにアクセント位置が2個）

参照 エラーメッセージの詳細について
➲《オンラインヘルプ「音声のプロパティ」エラーメッセージ一覧》

■ 品詞

次の18種類から選択します。
普通名詞、姓、名、地名、企業名、その他の固有名詞、さ変名詞、代名詞、動詞、形容詞、形容動詞、副詞、記号、連体詞、接続詞、接頭語、接尾語、感動詞

■ 動詞の活用ガイド

動詞を選択すると入力単語から活用を推測します。活用が複数考えられる場合、ガイドを示して選択を促します。

・5 段活用の場合の未然形

・1 段活用の場合の未然形

2. 音声認識辞書を設定する

ユーザ辞書への登録

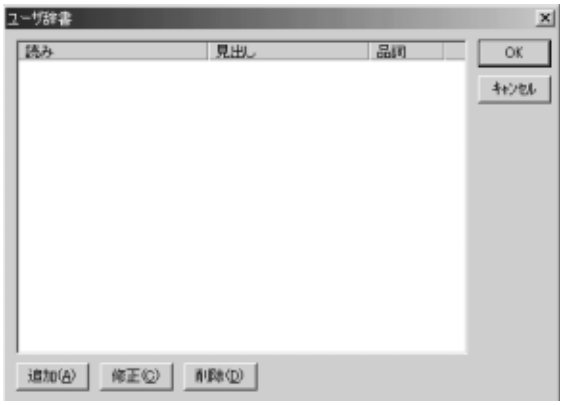
1 各アプリケーションのメニューやツールバーの「音声認識のプロパティ」をクリックする

［音声認識のプロパティ］画面が表示されます。

2 ［ユーザ辞書］ボタンをクリックする

［ユーザ辞書］画面が表示されます。

3 ［追加］ボタンをクリックする



［単語の追加］画面が表示されます。

4 登録を行う

■ 読み

登録する単語の読みかたを、ひらがな 40 字以内で入力してください。

■ 見出し

「読み」に入力した読みかたで表示したい文字を入力します。

■ 品詞

「見出し」に入力した言葉の品詞を次の 7 つから選ぶことができます。
普通名詞、姓、名、地名、企業名、固有名詞（姓名、地名、企業名以外）、サ変名詞

5 ［追加］ボタンをクリックする

入力した単語が辞書に登録されます。

2章

こんなときには

LalaVoice2001 を使用中の
「困ったとき」について解説しています。

1 こんなときには 56

■ 入力した音声が正しく認識されない

・マイクと口の距離があっていない可能性があります。
マイクの位置は口の横、約2cm前後にし、息が吹きかからないように調節してください。

・周囲の雑音が大きすぎる可能性があります。
できるだけ静かなところで使用してください。

・音声入力話者が正しくないかもしれません。
「マイクレベル調整」またはアプリケーションのメニューにある「音声認識のプロパティ」で男性 / 女性 / 男女共通の選択を確認してください。

・入力レベルが合っていない可能性があります。
マイクからの入力レベルが小さすぎたり、大きすぎたりすると、正しく認識できないことがあります。「マイクレベルの調整」、またはボリュームコントロールで、マイクレベルの調整を行なってください。それでも正しく認識できないときは、『インストールガイド 5-2 マイクレベルの調整ができないとき』で状況を確認し、パソコンの入力レベルを調整してください。

■ 認識結果がなかなか表示されない

・認識処理に時間がかかっていることがあります。
一度にたくさんの言葉を話すと、認識を処理する時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。

・メモリが不足している可能性があります。
使用に必要なメモリが用意されていても、ほかのアプリケーションソフトを起動していると、メモリが不足している可能性があります。使用しないアプリケーションソフトは終了してください。

■ 何も発声していないのに、音声コマンドが入力されてしまう

・マイクにかかった息を誤認識している可能性があります。
マイクの位置は口の横、約2cm前後にし、息が吹きかからないように調節してください。

・マイクのレベルが高すぎて周囲の雑音を誤認識している可能性があります。
できるだけ静かなところで使用してください。

■「マイクレベルの調整」が正常に終了しない／終了しても誤認識をする

・マイクの On ／ Off ボタンを確認してください。
マイクの On ／ Off ボタンは「On」（下がっている状態）でお使いください。

・パソコンの設定が違っている可能性があります。
『インストールガイド 5-2 マイクレベルの調整ができないとき』で状況を確認し、パソコンの入力レベルを調整してください。

メモ

・使用環境、発声方法、発声内容などによっては、入力した音声コマンドを誤認識する場合があります。

お願い

・「削除」や「フォーマット」など、データが変更されるようなコマンドは、音声コマンドを実行する前に確認する機能を有効にしておくと安全です。また、周囲の雑音を認識してしまう場合には、指定のキーを押したり、マウス位置により音声入力を限定する機能を設定することをおすすめします。

さくいん

※太字は、インストールガイドを参照してください。

英字

CPU 9
LaLaVoice LaLaSong 17
LaLaVoice Web 15
LaLaVoice アシスタント 23
LaLaVoice キーボード 34
LaLaVoice コマンド 12
LaLaVoice テキスト 9
LaLaVoice マクロ 39
LaLaVoice メール 36
LaLaVoice メッセージ 35
MAPI 36
Outlook の読み上げ 45
POP3 36
Web の読み上げ 15
Word/Excel の文章の読み上げ 44

あ行

アシスタント 23
アンインストール（LaLaVoice マクロ）..... 40
インジケータ表示（LaLaVoice コマンド）..... 14
インストール 10
インストール（LaLaVoice マクロ）..... 39
音声合成辞書の設定 48
音声コマンドの一覧（LaLaVoice コマンド）... 12
音声コマンドの変更（LaLaVoice コマンド）... 12
音声入力（LaLaVoice テキスト）..... 10
音声入力（LaLaVoice マクロ）..... 42
音声入力モードの変更（LaLaVoice コマンド）.. 13
音声認識辞書の設定 52
音譜パレット 19

か行

楽譜ファイルを開く 17
楽譜を変更する 18
楽譜を作成する 19
歌詞の入力 21
環境 9
キャラクタオプション変更
（LaLaVoice アシスタント）..... 31
キャラクタ設定の変更 33
曲情報の変更 18
声でパソコン操作 12
声の設定 13

さ行

サウンドカード 9
シグナルアダプタ 22
辞書の設定 48
すぅぱぁみみ 's スクリーンセーバ 46
スケジュールの削除 27
スケジュールの修正 27
スケジュールの登録 25

た行

着信メールの表示と読み上げ 38
電子メールに関する設定 36
電池ボックス 22
同梱物 8

な行

入力の設定（LaLaVoice マクロ）..... 43, 44
入力レベルを上げる 20
入力レベルを下げる 18

は行

ハードディスク空き容量 9
表読みの設定 44
文章の修正（LaLaVoice テキスト）..... 10
文章の転送（LaLaVoice テキスト）..... 11
文章の保存（LaLaVoice テキスト）..... 11
文章の読み上げ（LaLaVoice テキスト）..... 9
ヘッドセットマイクの接続 12
ヘッドセットマイクの装着 13
ホームページの読み上げ 15

ま行

マイクレベルの調整 13
マクロの一時停止 41
マクロのインストール / アンインストール 39
メインメニュー 8
メールの読み上げ（LaLaVoice マクロ）..... 45
メッセージボックスの選択
（LaLaVoice メッセージ）..... 35
メモの削除 24

メモの修正 24
メモの入力 23
メモリ 9

や行

ユーザ辞書の登録（音声認識） 52
ユーザ辞書の登録（読み上げ） 48
予定の整理 28
読み上げ（LaLaVoice テキスト） 9
読み上げキャラクタの編集 23
読み上げキャラクタの編集 33
読み上げの設定（LaLaVoice Web） 16
読み上げの設定
（LaLaVoice アシスタント） 29
読み上げの設定（LaLaVoice マクロ） 45
読み上げフレーズの変更
（LaLaVoice キーボード） 34
読み上げ方法の設定
（LaLaVoice テキスト） 9

東芝 PC ダイヤル

技術的なご質問、お問い合わせにお答えいたします。

受付時間／平日：9:00～18:00　土曜日・日曜日：9:00～17:30
（祝日、12/31～1/3を除く）

ナビダイヤル **0570-00-3100**

全国共通の電話番号です。お客様からの電話は全国6箇所の最寄りの拠点に自動的に接続されます。拠点は千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市です。拠点までの電話料金はお客様のご負担となります。また、海外からの電話、携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780で受け付けております。

ご注意：ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません（サポート料金は無料です）。

東芝 PC FAX 情報サービス

東芝PCの商品情報、Q&Aなどを24時間お届けします。

043-270-1358

東芝PC、FAX情報サービスでは音声FAX応答システムの採用により、パソコンの各種情報をFAXで提供しております。お手元のFAX（G3モード対応）から電話をおかけになり、音声案内に従って操作してください（但し、メンテナンスのため休止させていただくことがございます）。

LaLaVoice ホームページ

LaLaVoiceの商品紹介や動作確認の取れている機種、アップデート情報などをお届けします。

http://www2.toshiba.co.jp/pc/lalavoice/

LaLaVoice 2001 ユーザーズガイド

平成12年12月1日　A2版発行　MPW0679A

発行　株式会社 東芝 デジタルメディアネットワーク社

PC事業部　〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

© 2000 TOSHIBA CORPORATION
ALL RIGHTS RESERVED

無断複製及び転載を禁ず